

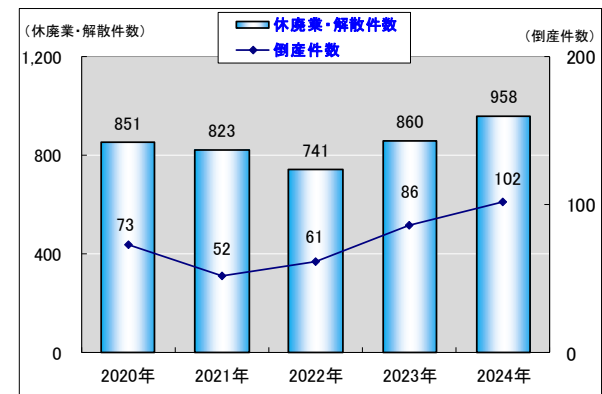
岡山県 企業の休廃業・解散動向調査（2024 年）

休廃業・解散は 958 件、過去 5 年で最多
～倒産件数（法的整理）の 9.4 倍に～

岡山県で 2024 年に休廃業・解散した企業（個人事業主を含む）件数は 958 件だった。前年を 98 件（11.4%）上回り、2 年連続で増加して過去 5 年で最も多かった。2024 年における倒産件数（102 件）の 9.4 倍となった。

2024 年は円安効果で訪日客が過去最多となり、インバウンド消費が国内景気を下支えしたほか、半導体や自動車関連メーカーを主体に輸出が好調に推移した。一方で、円安基調による輸入物価の上昇、天候不順による農作物の不作が大きく影響し、食品関連をはじめ幅広い商品・サービスの値上げが続き、個人消費が伸び悩み一因となった。

■岡山県 休廃業・解散と倒産の件数推移



■岡山県 休廃業・解散と倒産の件数比較

(件・%)

年	休廃業・解散	前年比	倒産	前年比	休廃業・解散/倒産
2020	851	1.3	73	4.3	11.7倍
2021	823	▲ 3.3	52	▲ 28.8	15.8倍
2022	741	▲ 10.0	61	17.3	12.1倍
2023	860	16.1	86	41.0	10.0倍
2024	958	11.4	102	18.6	9.4倍

仕入れ価格の上昇に対して販売価格への転嫁が十分に行えず、人手不足への対応も負担となって中小・零細企業を中心に収益環境がさらに悪化し、倒産件数とともに休廃業・解散件数も前年から大きく増加した。

調査結果（要旨）

- 2024 年における岡山県の休廃業・解散企業は 958 件、過去 5 年で最多
- 2024 年の倒産件数（102 件）の 9.4 倍、10 倍を下回る

- 帝国データバンクが調査・保有する企業データベースのほか、各種法人データベースを基に集計
- 「休廃業・解散企業」とは、倒産（法的整理）を除き、特段の手続きを取らずに企業活動が停止した状態を確認（休廃業）、もしくは商業登記などで解散（「みなし解散」を除く）を確認した企業の総称
- 調査時点での休廃業・解散状態を確認したもので、将来的な企業活動の再開を否定するものではない。また、休廃業・解散後に法的整理へ移行した場合は、倒産件数として再集計することもある

【 問い合わせ先 】 （株）帝国データバンク 岡山支店 担当：越久田

TEL 086-224-4681 FAX 086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。